

清水寺 オペラに酔う 初上演

世界遺産・清水寺（京都市東山区）で23日夜、イタリア・ボローニャ歌劇場と日本芸術振興協会（東京都目黒区）が共同制作したオペラの公演があった。本堂の「清水の舞台」の上で演じる予定だったが、あいにくの雨のため、屋根のある堂内へ移動しての上演となった。清水寺でオペラが上演されるのは初めてという。

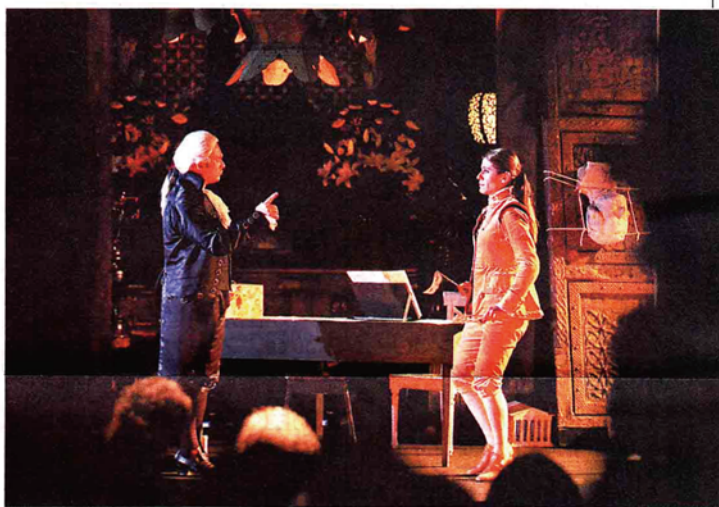
ボローニャ歌劇場の創立250

周年を記念した公演で、指揮はイタリアで活躍する吉田裕史さん(45)。舞台監督や照明なども日本人が担当した。

ジョヴァンニ・バッティスタ・マルティーニ作曲で日本初演となる「音楽の先生」と「ドン・キホーテ」の2演目が上演され、観客は通常の舞台とはひと味違った堂内に響く歌声に酔いしれた。

【花澤茂人】

清水寺の本堂で開かれたオペラ。京都市東山区で23日、京都平安振興財団提供



毎日新聞 2013. 10. 24